「のる一と足柄」運行分析結果(令和5年10月23日~令和6円2月29日)

R6.3.8 作成 作成者: (一社) 足柄オンデマンド

		R	5.3.8 作成	, 作成者:(一社)足枘オンデマンド				
対象			解析					
1. "のるーと"会員登	登録者推移について							
録及び利用者の動	●10月運行開始時点の、のる一と足柄の登録者数は359人。							
向	●運行開始後順調に伸びており、2月末時点の利用登録者は1076人の登録者数							
	を得ており、増加率は運行開始時から約3倍となる。							
別紙1、2、3 参照								
	利用者推移について							
	●登録者1076人中、1回以上利用したことがある方は約530人。							
	●年末年始にかけて利用増加がみられる。令和6年2月は「まつだ桜まつり」や悪							
	天候による運休の影響により減少しているが、平均して月約2,000人利用さ							
	れている。							
	 ●福祉課政策のタクシー初乗無料券が令和5年12月末で廃止した影響も合わせ							
	 て登録者・利用者は	増えている	0					
	●一方で、登録者・利用者は増えているが、一人当たりの利用頻度は少ない。							
2. "のるーと"パスポ	●67 世帯・人の入会を得ている。これは全のる一と会員の 6.3%を占める。							
ート会員の動向	 ●内訳をみると(※1(0/23~2/2	29)					
	タイプ	世帯·人	割合(%)					
別紙4 参照	ファミリー	21	31.3					
	パーソナル 1	2	3.0					
	パーソナル 2	15	22.4					
	シルバー	29	43.3					
	計	67	100					
	期間	世帯・人	割合(%)					
	1 力月	<u> </u>	40.3					
	3 か月	17	25.4					
	6 か月	23	34.3					
	計	67	100					
		07	100					
	会員タイプの割合は11月末と比較しても大きく変わらない。							
	一方、期間に関して11月末と比較すると6ヶ月会員の割合が1割以上増え、"試							
	し"で購入された方の継続率の高さが見て取れる。							
	●2月29日までの退会者は5人。退会理由は福祉クーポンの発行にあたり利用方							
	法を切り替えとなる。							

対象	解析			
3.時間帯別の利用状	●運行開始から2月29日までの運行実績と利用者の特性を見る。			
況				
	●9時台の利用が最も多く、次いで15時から17時にかけて多い。			
別紙5 参照	●朝の利用は、法人団体会員の割合が高く通勤目的と見受けられる。			
	●15時から17時の利用は、ヤオマサ・ミマスモールなど商業施設の割合が高く			
	買い物目的が中心となる。			

4. MP 別の利用状況 ●2町246ヶ所の MP の利用実績から特に利用されている場所を集計。

順位	乗車 MP 名	利用者数	構成比
1	180 新松田駅南口	1,341	19.43%
2	18 レストフルヴィレッジ	699	10.13%
3	224 ヤオマサ 大井町店	266	3.86%
4	125 松田町役場	241	3.49%
5	222 セブン-イレブン 大井町金手店	230	3.33%
6	158 スルガ銀行 ATM	224	3.25%
7	178 クリエイトS・D 大井松田店	215	3.12%
8	216 ミマスモール	176	2.55%
9	51 田代向	169	2.45%
10	185 松田囲碁クラブ付近	161	2.33%

順位	降車 MP 名	利用者数	構成比
1	180 新松田駅南口	1,334	19.33%
2	18 レストフルヴィレッジ	730	10.58%
3	224 ヤオマサ 大井町店	250	3.62%
4	51 田代向	231	3.10%
5	222 セブン-イレブン 大井町金手店	221	3.20%
6	125 松田町役場	214	2.12%
7	178 クリエイトS・D 大井松田店	205	2.97%
8	216 ミマスモール	162	2.35%
9	158 スルガ銀行 ATM	146	2.12%
10	185 松田囲碁クラブ付近	144	2.09%

※北向き・南向き/東向き・西向きそれぞれを集約して集計。MP 番号は若い方を表示。 例)「51田代向(北向き)」・「52田代向(南向き)」→「51田代向」

- ●乗降共に新松田駅が特に利用が多い。
- ●レストフルヴィレッジについて法人団体会員として通勤利用と見受けられる。
- ●その他、ヤオマサ・ミマスモールなどの買い物目的利用が多くみられる。

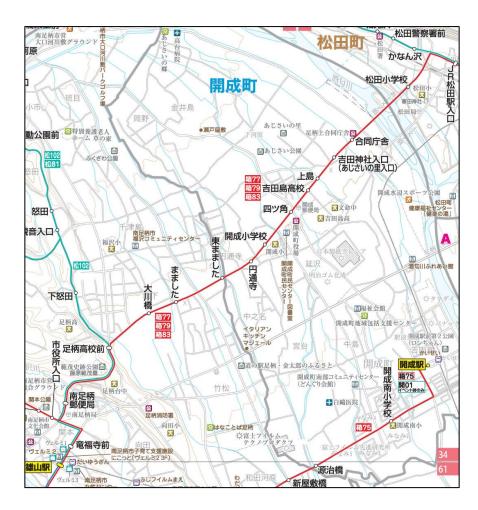
5. 利用頻度 ●利用実績のある約530人のパスポート会員とゲスト会員の比較 10月 11月 12月 1月 2月 パスポート会員 15.41 14.3 14.12 5.41 13.88 ゲスト会員※ 3.73 3.23 3.18 2.92 1.8 ※パスポート未購入者の中で1回以上の利用された方 ●パスポート会員は1ヶ月の平均利用回数は約14回。 ●一方、ゲスト会員は平均3.2回にとどまっており、利用頻度向上の政策を行う 必要がある。 ●平均1日70人/4台であり、1台あたり17人/台前後。 6.1日あたりの乗車 ●運行開始時より登録者・利用者数が増えているが、台あたり乗車客数に余裕が 客数 あるため、運行効率改善を検討。 7. 予約方法 ●アプリ・ライン予約は運行開始当初と比較しても大きな変化なく、約7割 電話予約は約3割に留まっており普及率の高さを維持している。 ●新規利用者(特に高齢者)層は電話予約が多い。 ●一方で、複数回利用経験のある高齢者は、アプリ予約方法を知りたいと当法人 まで来社される方が多く見受けられる。 8. パスポート収受及 ●10/23~2月末現在で、パスポート会員入会金収受約105万円、ビジター現 び現金収受状況 金収受約82万円に留まっている。 9.10月 11月 12月 1月 2月 合計 別紙6 参照 パスポート 414,600 258,600 151,275 154,275 76,725 1,055,475 現金収受 29,700 176,110 212,101 237,300 171,101 826,312 合計 444,300 434,710 363,376 391,575 247,826 1,881,787 ●パスポート会員収受は運行開始時より伸び悩む。 ●一方、現金収受は徐々に増加傾向にある。 ●想定よりパスポート購入する必要のある利用頻度がなく、都度支払いをした方 が良いとされるご利用者様が多い。 9.2024年1月に実 ●令和6年1月中、利用者等に対するアンケート調査を実施した。 施したアンケート アンケート方法 Google フォーム/車内配架/郵送/来社 調査結果について アンケート回答数 134 ●アンケート結果の一部を「別紙6」に記載する。 別紙7 参照

2 来年度以降の取組み

1. 利用者向けサービスレベル向上

●開成町を含む、運行エリアの拡充





●運賃決済キャッシュレス化(アンケートで要望の多かった事項) 交通 IC、電子マネー等に対応した車載型の端末の導入を検討。 <端末イメージ>



2. 収支の見直し

- ●運行体制 4台→3台 へ変更を検討。 運行事業者との協議を経て方向性を示したい。
- ●運賃改定 収支状況を踏まえて、運賃改定を検討。
- ・運賃設定について 地域ごと、運行距離等様々な視点で協議の上方針を示したい。
- ・法人団体等のパスポート会員区分追加

3. 利用者増に向け た取組み

- 3. 利用者増に向け ●各地での説明会の開催 【継続】
 - ・各地域における説明会や団体、施設等による説明会の開催
 - ●商業施設等でのキャンペーン【新規】
 - ・大型スーパーマーケットなどの敷地の一角でキャンペーン
 - ●利用者アンケートの実施【継続】
 - ・定期的にアンケート調査を実施し、サービス改善につなげていく
 - ●サイネージの活用【新規】
 - ・車内のサイネージを活用し、利用方法の周知等を実施